

病害虫発生予察指導情報 (ナシ・ニセナシサビダニ No. 3)

平成24年6月15日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月中旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年と比較してやや少ない。

2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は437.8頭(前年: 517.2頭、平年: 785.9頭)で、発生量は前年並で、平年と比較してやや少ない(表1)。
(2) 向こう1か月の気象予報によると、発生盛期は平年と比較してやや遅い6月下旬頃と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	0	0.4
5・中	0	37.5
5・下	1.4	120.5
6・上	61.0	617.0
6・中	437.8	785.9
6・下		1,116.1

注) 殺ダニ剤無散布ほ場, 1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 近年、ニセナシサビダニの発生時期がやや遅いが、密度増殖が著しい種(ハダニ類、サビダニ類など)は、発生初期の防除(初期密度の低い時点での防除)が重要であること、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きいことから、防除時期は本年の生育状況にあわせて実施する。
(2) 第2回目の防除は、第1回目防除との間隔を20日程度とし、発生盛期の6月中～下旬頃を目安とする。薬剤はハチハチフロアブル2,000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。